

会議名	第1回北栄町行政改革審議会					
日時	平成28年4月26日(火)			開会	午後7時00分	
				閉会	午後8時34分	
場所	大映農村環境改善センター 第3会議室					
会議日程	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 報告事項(事業棚卸結果提言に対する町の対応について) 4. 協議事項(事業棚卸結果提言に対する町の対応について) 5. その他 6. 閉会					
出席者 氏名 (11名)	職名	氏名	出欠	職名	氏名	出欠
	会長	千葉 雄二	○	副会長	野津 伸治	○
	委員	光村 哉智代	○	委員	中西 澄江	○
	委員	日置 健生	○	委員	津島 望	○
	委員	奥田 よしの子	欠	委員	徳丸 宏則	欠
	委員	田村 武志	○	委員	青山 哲尚	欠
	事務局 副町長	西尾 浩一	○	事務局 企画財政課長	小澤 靖	○
	事務局 財務室長	浜本 昭人	○	事務局	小林 周平	○
内容 2. 会長あいさつ  3. 報告事項 ・事務局資料に基づき説明 (委員会の意見等 (◇会長、*委員、→事務局)) 特に意見なし 内容 2. 会長あいさつ  3. 報告事項 ・事務局資料に基づき説明 (委員会の意見等 (◇会長、*委員、→事務局)) 特に意見なし						

#### 4. 協議事項

\*昨年度は、合併による地方交付税の縮小が見込まれる中、多様なニーズに答えていっては立ち行かなるという懸念に対して、強い意志を持って棚卸しに臨まれたわけだが、その部分について町としての意思是。

→今年度から交付税について合併後の優遇措置がなくなる。4億5億の交付税削減が間違いない。その状況が分かっている以上、それでも行政運営ができるように見直すところは見直し、税収を極力増やし何とか対応していかなければいけないと思っている。削減できるところは削減していくということは変わっていない。

◇結果として金額的な効果なり、変化なりはあったのか。集計はしていないのか。金額的效果を出してほしい。

→数字を集計していないので、後日報告する。

\*かかったコストも参入して成果を出してほしい。

\*事業棚卸しをしたが、今年は63事業に関して継続がかなりあった。それで当初目的の「町民に負担を強いることなく、サービス維持」できる数字が上がっているのか。町民も行政も痛みを分かち合いながら北栄町として乗り切っていこうというのが大きな目的。相手方の意見や何処どこと協議したという話もあった。状況によって参加人数が少なかったら廃止等の話もあったが、町民に強いることなく行政が回るようになるのか。提言には強制力がないので、それをもとに議会に提案したり、予算を組んだりしたとのことだが、棚卸にどれだけの成果があったのか。棚卸の役割は北栄町の目指す方向に役立ちつつあるのだろうか。

→削減案は会議の運営経費等も含めてプラスになっているかなど感覚的には難しいと思う。これまで、踏み込めなかった行政として気が付かなかったところにメスを入れていただいたことに感謝している。改良区の特別賦課金など気づいていた職員もいたかもしれないが、提言をいただいて、改めて考え直し見直しをさせていただいたことは審議会の成果だと思っている。具体的な金額としてあがっているわけではないが、問題意識をもって相手方（恩恵を受けていた人）に、今まであったけれど、これはほかの町民から見ておかしいということ意識してもらったことができた等効果があった。

\*いろいろな意見を出していく中で、こういうことをやって、その結果こういうことになったということを最終的に町民はどれだけ知られたのか。やっぱり金額を出していただかないと漠然としているわけではないが、突っ込んだところが見えたらいいと思う。町民がどれだけ意識をもってこれを見たのかということ。

→これだけ時間をかけて皆さんから意見をいただいたことをできるだけ多くの町民に知っていただく必要があると思う。町報等で知らせているが不十分だと思う。その結果これだけの削減効果・成果が出たということを、いろいろな広報手段を使って多くの町民にお知らせできるようにしたい。

\*財政が厳しい中で事業仕分けをして、少しでも削減をしようとする取り組みをした中で、削減することは簡単ではないがある程度できる。逆にこの厳しい時だからこそも

っと財源を増やす、町を活性化したりブランド物を有名にしたりとか、増やすような取り組みもしてほしいと思っている。

→ただすべてを削減していくとしりすぼみになってしまう。なかなか難しいことではあるが、税金を増やす、町外から多くの人に来てもらって町内にお金を落としてもらう仕組みづくりが必要。ご意見いただいたことについて、ふるさと館の入場者アンケートはだいぶ前からやっていると思っていたができていなかった。ご意見をいただいて抽出ではあるがアンケート調査を行って、どこから来ているかとか、目的など調査して有効なPR方法を探している。極力町内でお金が回る仕組み、できるだけ町外からお金をもってきて町内に落としてもらう仕組みがないと町の発展はないと思う。

\*削減はやり辛いところがある。サービス低下や町民が住みにくくなるのではないかと懸念した。どこかにしわ寄せがくるとか、税金が上がるとか。町民からもそういう声が聞こえる。北栄町といえば、(税金が安くて)住みやすいと言っている人もいる。産業・観光はしっかり力を入れてお金を使わなければいけないところ。経費を下げるためにお金を使うのであれば、サービスを低下させずに何かしらできるのではないかと。削減した部分が税金に影響してくるのであれば、いろいろなことを積極的に。産業振興課があるのだから北栄町の産業がどのように動いていて、どのようにしようとしているのか分析してほしい。国県補助金があるのだから情報は得られるはずなのにしていないことも分かった。そこをしっかりともらったら、この町は産業(農業)でも遊休農地を活用するなどの方法で若手が参画してきて税金に反映してくると思っている。

→産業振興しなければいけない課として、町でお金が回るような仕組み作りが必要。十分な分析ができていない。

\*一年間棚卸しに参加して、普段だったら改善してくださいと言われる立場の人間なので意見を言えるのはよい体験だった。Aグループの内容は、こうしてくださいと言っても実際に効果が実感できるのは一年先だったり、長いスパンで様子を見ないといけないのですぐ次の年という内容ではないというのは理解している。もともとの目的として減収に対してどのように対応していくのかということがあったのでそのような目線で見せていただいた。経費が増えたとしても、その分増える収入とか効果を金額で示してほしい。特に教育に関することは「あちらを立てるとこちらが立たず」というのが必ず出てくる。子どもたちが喜んでくれるような形、保護者が協力できるような形をとりたい。町とPTAと子供たちのニーズをしっかりと聞いていただきたい。

\*昔から言われているが、最小限にサービスを絞り込んで、多様なニーズに答えていく中で過大な負担を強いるのか。極端な話だと思うが、近々こういうことも住民に問うていくことになると思う。収入を増やす方法の検討チームを。地方創世のキャッチフレーズで政府が力を入れているこのチャンスをうまく利用していかなければいけない。今年1月に視察して参考になったのは、島根県隠岐道後(隠岐高校)。8年前に「あと2年この状態が続いたら高校が廃校になる」という状況だった。廃校になると

いうことは、16歳の子が逃げる。親も逃げる。地の利から言うと松江市から60km離れて、フェリーで3時間。天候が悪ければフェリーは止まってしまう。今は高校を町の資源と考え魅力づくりに努めている。日本全国から受験に来られている。魅力的な町の活性化経済効果。この離島での問題を解決できれば全国どこでもトップランナーになれるのではないかと志から取り組み功を奏している。北栄より小さくて条件も悪いところだが、プランディングがうまくできて、経済効果もすごい。四国にもあると聞いているが身近にもある。ぜひ前向きな政策に打って出て元気な町にしてほしい。

◇現状維持的な回答になってしまったというのが残念ながら第一印象。昨年スタート時点では意欲があったと感じた。その時には財政危機、人口減少を強く意識されていたと思う。その中で町民は住民のサービス低下を心配されているということがある。そこでどう優先順位をつけていくのかということが出てくる。収入・人口に合わせて一律マイナスの方向なのか、自治体として生かすべきなのか。その分どこか我慢してもらうのかということ、行政改革ということを考えていくのか、町のコンセプトあるいは行革審議会ですべてやっていくのかということが求められると感じている。

町民はどう感じているのか、昨年・今回の結果をしっかりと広報してみてもどうか。審議会に出した結論と、町の結論を広報に出して町民に意見を求めてみるということがあってもいいのではないかと。審議会ですべて、町の協議会ですべて、さらにそれを町の人たちが見ていくということがあってもいいと思っている。何もせず現象だけでは寂しいということもあった。もしやるとすれば、既存の持っている事業をどううまくやっていくか。大きなメリットをもたらしているものもある。ふるさと館は投資金額は別として経常的にはプラスになりえる事業。外の人間を含めてどううまく使っていくのか、町としての具体的な対応も考えられる。全体の考え方をみていくと昨年としての結論と、発展性をもってやっていきたい。町としての色合い、全体感をもってコンセプト、行政改革なり長期予算方針があったほうがいいと思う。

→ご指摘いただいたことはごもっともなこと。審議会での当局の説明がまず不十分だった。組織のなかで十分に議論をしてから説明したかということになると、不十分だったと思っている。実際にいろいろやり取りをして提言いただいたことをすべて反映できたかということ、なかなかそうではなかった。今日説明でお詫びをさせていただいた。まずはやり取りをして町としてこういう風にさせていただいたということは極力町民にお知らせする。合わせて、しりすぼみにならないように収入を増やすという取り組みを、町を挙げてやっていく。今まさにある資源の活用は、観光の面だと思う。ふるさと館も昨年初めて10万人を突破して、長年の懸案であった人数を突破した。外国からも多くのお客さんが来られている非常に発展性がある。そこに力を入れていくのは、当然だと思う。どうやってお金を生み出していくかを並行してやらないと、削減していくばかりでは町の発展は望めない。そのあたりを、バランスをとってやっていかないといけないと思っている。交付税が何億も減ることは間違いない事実。その何億をどうやってカバーしていくかは、こうやって説明させていただいたみなさんに

はご理解いただけるが普通の町民の皆さんにはなかなかご理解いただけない。きちんとお知らせして危機感を持っていただくことも必要。先ほどの隠岐には私は一昨年、小沢課長は昨年行っている。山内町長はお隣琴浦の出身で鳥取にも非常にゆかりがある方。今の発展は、町長の給与50%カットから始まった。町の財政がいかに厳しいかを町民に理解してもらうところが出発点だとお聞きした。まさにいろんな産業を興している。ずっと町に住んでいた方ばかりではなく、他からIターン等で来られた方が、大きな会社を任されてやられている

それに比べれば、人数的にも資源的にも北栄町は多くのものを持っている。そこに負けないようにするにはどうすればよいかを合わせて考えなければいけないと思っている。ありがとうございました。

## 5. その他

事務局 多くの宿題をいただいた。まずは削減効果についてどういった考えに基づくものなのか、また金額的なものを皆さんにお示ししないといけない。私が棚卸しを受けた関係では北条庁舎がある。庁舎統合をすると、北条庁舎は使用しない庁舎ということになり、電気代の関係で、副会長から「サーバー電力を調べなさい」ということがあり、早速対応を取らせていただいた。職員はこの提言を真摯に受け止めて、提言へ回答するため、そして予算に反映させるため対応をとっているということをお伝えしたい。次回も計画するのでその際には資料をもって皆さんに提示しますので参加をよろしくお願いいたします。

### 委員からの質問・提案・意見

\*それぞれの課からプレゼンが出てくるが、「自分たちがこうしたい、これをお願いしたい」ということを示してもらえないと、何が言いたいのかわからないということがちょこちょこあった。提案・提言される方は、自分たちの内容をきちっと把握してよくわかるようにしてほしい。

\*昨年5月21日、この部屋で2年間ですと西尾副町長が言われた。昨年4回に分けて5か月間かけてグループに分けてやられた。第2回を計画しているといわれたが、去年と同様の事業棚卸しの計画があるのか。任期中はこれで終わると自分は思っている。28年度も同じような方法でされるのか。昨年5月の時点では第6回まで、こんなことをしますよということがあった。今4月26日。同じような時期になっているが、皆さん2年目をまもなく迎える。

→昨年と同じような棚卸をする考えはない。昨年度に不手際があった事をお詫びする。この件についてはほかの委員からもお聞きしている。4月5月だったので「換わったばかりでわかりません。」と発言した職員があった。この場に来る職員として失格だと思っている。こういったことはあってはならないと、管理職の会で、職員には町長から叱責させていただいた。外部の方に説明するのに役場としてどういった体制でどんな姿勢でやりたいのか、責任者として説明できなかつたのは役場の落ち度だと思っている。棚卸としては一区切りではあるが、予算にどのように反映したかは新年度になってから早めに執行部としてお話しさせていただきな

いといけないと思い、このような会を設けてもらった。すべてが反映できればよかったが、なかなか繁栄できないものも多々あったので、担当課だけではなく私が説明させていただいた。実際に棚卸しという形ではなく、行政改革として様々なアドアイスをいただきたい。

\*事前になると不慣れなので、プレッシャーがかかる。町民の皆さんの負担と給付の関係。町民の皆さんの財政の危機感は行政改革委員の委嘱を受けるまでは、統合したことによってサービスは低下するが、町長曰くサービスは低下させないとあったが、中心的なものは本庁依存になり、北条はおいて行かれるような気がする。行政に対する無関心さがある。講師をいろいろ使いながら行政と町民が危機を認識しあえるような情報交換をしたら違ってくる。負担は軽いほうがいいが求めるものは結構期待する。北条庁舎に行くと若い従業員が多い、正社員じゃない。委託会社。確かに感じはいいが、少し難しいことになると「少し待ってください」と奥から正社員が出てくるというパターンがある。そういうことも含めて共有できるような。あらゆる手を使って情報公開をしてほしい。

◇昨年感じたが、周辺情報の資料・データを揃えて。説明の時に書類を見ながら説明するというスタイルだが、可能であればパワーポイントとまでは言わないが、大きな画面で説明者は何がポイントなのか、何が言いたいのかわかるようなスタイルで。既存の資料プラス自分の享受したい写真があったりすればそれを示すなりすれば、担当者の熱意というか。今年の記憶で担当者は別ですとあったが、写真一枚つけることで印象が変わるのではないか。自分の言葉でしゃべってもらったほうがいい。

→今年度は事業棚卸をするつもりはないが、次回は検討する。今役場では予算査定作業は、プロジェクターで要求書を映して、こういう事業をやりたいということを町長なり私に説明する形をとっている。一つの同じ材料を見ながら審議するというほうが紙を見ながら議論するよりやりやすい。

\*今年度はどのような形でどんなことをするのか？棚卸事業ではないということだが。

→未定。とにかく今回は棚卸結果をフィードバックさせていただくことが最重要課題。予算的にはあと2~3回できる予算組をしている。具体的に今後の形は決めかねている。またご相談する。

\*昨年の第1回の時にはある程度予定が見えていたが、今回は・・・全体の日程を含めたスケジュールがわかるのはいつ位になるのか。5月の頭とか？

→もうちょっと後。時間的余裕をもって召集させていただく。

\*いろいろな部署で委員会や審議会でも内部的・外部的評価をされている。財政的評価をされていると思うが、逆にこれがなくても去年の観点をもってあるいは共通の危機意識、目指す方向性でいろいろ既存なものを使われて同じような効果があるので、

→役場の場合は行革的な審議会はこれしかない。評価は教育委員会にはあるが町長部

局ではなく、予算査定しかない。この審議会が町として方針ややり方についてアドバイスいただく場としてお集まりいただきたい。去年は棚卸として実施したので、まずはその結果をしっかりお返しするということでさせていただいた。

\*せっかく一生懸命委員になったみんなは考えて意見をだしたりして、一応こういう形のものできているが、なんだか中途半端という感じがする。もう少し荷詰めてもう少しこれとこれとこれとはとにかくやろうとかというものを最後までして、こういう結果になりましたということが見えてきてもいいのでは。これでは中途半端の尻切れトンボ。皆さん一生懸命考えて、ただこういう話し合いをしましたよと町から 28 年度はこういう風にするという内容ではあるが、棚卸し事業が多すぎて、これをここまでやったというようなものが見えてこない。みんな、似たり寄ったり。  
→もっとそういう意見がたくさん出るのではと戦々恐々としていた。まさに改善、と言って役場で改善できなかったことも改善しなくてはと言われることもいいと思う。それに対して今の対応状況の説明はしたが、今までの議論からしてとても納得できないということについては、役場の職員・関係者と議論することは全く問題ないと思っている。この場でというのは難しいがどうしても、納得できないという物は教えていただいて、もう一段階検討させていただくのもいいと思う。

\*収入とか、考えていかないといけないということであれば、湖南の観光をもう少ししぼって、やり切らないといけないということ収入に結び付けていくのか。その結果こうなったということを見せてこないと何を審議して何をしているのか、時間の無駄だったのではないかということになりかねない。これからのことをどうするのが今日の日に出ていなかったということも。年度当初にはそういうものがきちっと出てこない意味がない。この説明をされるために集まったということだが、年度当初に今年はどういう形でやっていきますということが今日の日に出てこないといけにと思った。

→年間計画を出さなかったことはお詫びする。いただいたご意見に対してどのように対応したかということ説明させていただくことが大事だと考えて、今回は開かせていただいた。そこについて、役場の対応が不十分だというご批判はお受けする。しっかりやれということであれば、対応させていただく。この場でもよいし、後程事務局でもよいので、その点についてご指摘をいただきたい。

\*事業仕分けのやり方にはいろいろあって、前は何点かに絞って、今回はたくさんさせていただいた。これから減っていく税金、入ってくるお金も減ってくる。これはできなかったという、先延ばし。確かに 1 年 2 年では変わらないかもしれないが、実際現状減るということはわかっているので、早々に手を打たなければ。収入を増やすということはすぐにでも取り組める。町民からは結果を求められる。どういう結果にしたいのか事業シートの中でも結果に対してどのようにしたのかわからない状況だった。そういうところが行政としていけないところ。企業であれば、すぐに対応するような価値観の違いがある。行政としてもそういうスピード的なものを求められる。これから減っていくのが分かっているならすぐに対応しなければいけ

ない。結果がすべて。結果をよくすることについてしっかり、この会をやっていかなければならない。棚卸について、200 幾つの中から、60 くらいしかしていないがあとはどうだったのか。全部することはできないが、類似するようなことをどのように考えるのか。やらなければいけないことをその結果に結び付けてほしい。

◇いい北栄町を作るための審議会。今年的设计をお願いします。

## 6. 閉 会

副町長 いろいろ厳しいご意見もいただきましたが、それを踏まえてまずは今年度何をするのかを決めてご連絡する。

ありがとうございました。